学校教育目標
心豊かで、高きをめざし、たくましく生きる子どもの育成　～優しい子・考える子・丈夫な子～
本校ホームページ　http://www.sakata.ed.jp/miyanoura/

宮小だより

令和4年12月22日号
発行：酒田市立宮野浦小学校

小中一貫教育

小中一貫教育とは、義務教育９年間を通じ、子どもたちの学力や能力向上、１人１人が社会を担う一員として自律できるよう、社会性や自己意識等の育成・向上をめざして行う教育です。酒田市広報１２月１日号に、学区の小中学校でめざす子ども像を共有し、９年間の教育課程で同じ目標に向かって教育活動を進めるとして「酒田市小中一貫教育」が大きく取り上げられました。酒田市では身につけて欲しい３つの力を下図のように表現し、その中で特に「学びに向かう力、人間性など」を表す『根の力』に重点を置いています。

四中学区では、２０年以上前から川南小中一貫教育を推進しています。学校規模や児童の実態が異なる６つの小学校が、様々な手立てを講じてきました。今年度からは、更にめざすゴールの姿を明確にし、取り組みをスタートしています。四中学区では、これまでも「仲間とのかかわり」を大切にしてきました。これは、先行きが不透明で将来の予測が困難なこれからの時代でも大切にしていきたいスタンスです。川南地区小中一貫教育では、『かかわり合い、未来を切り開く子どもの育成』を目標に掲げ、

（１）確かな学力の育成　（２）自尊感情の涵養　（３）郷土愛の育成　を重点としました。

本校では、学ぶ楽しさを味わえる授業づくりとしてマイプラン学習や教え合い学習への挑戦、にこにこ班の主体的な活動や特別活動の充実、地域の人・文化・自然を活かした学習等を展開し、自律・尊重・創造する力が育つ環境をつくってきました。児童の教育活動に関するアンケートでは、

○友だちと協力して学習や遊びに取り組んだか　○にこにこ班活動で協力できたか
○自分のよいところをたくさん見つけることができたか
○授業で話し合ったり教え合ったりして学ぶことができたか
○学校や地域、社会のために役立つことをしていると思うか
○自分の目標を決め、最後まであきらめずにがんばることができたか

等の項目で、９割近くが肯定的評価をしていました。また、保護者の皆様からも設問内容が若干違うものの、同様に評価していただきました。一方でなかなか改善できない課題もあります。

これからも自分たちの学校を自分たちがつくることはもちろん、よりたくましい１５歳の姿に近づけるよう、保護者や地域の皆さんと一緒に小中一貫教育を考えていきましょう。

校　長